



豊明市国際交流協会《テイラ》

# TIRA

Toyoake International Relations Association

 豊明市国際交流協会 機関紙 Vol.24, 1 Mar. 2003  
 豊明市国際交流協会事務局(豊明市役所企画課内) TEL 0562-92-8318

第 24 号



世界の料理教室 10月26日



世界青年の船 10月25日～27日



救援衣料活動 11月17日



国際交流パーティー 12月21日

## 世界青年の船

10月25日(金)～27日(日)オーストラリア、チリからの青年5名を民泊受け入れしました。

8年前のアメリカ旅行で英語が全然通じずそれ以来ずっと英語を母国語とする国の人に対して重症の英語コンプレックスに。今回はチリの人なら何とか通じるかも、と申込んだらオーストラリアの21歳、男子学生に決定。「どうしよう?」不安のままに当日をむかえ、出会ったニックは、それはそれは素敵な人でした。どんな料理も「おいしい」「very good, very nice」の連発。TIRAで企画して下さった〈お茶・お花・着付け〉体験も、和菓子、お抹茶に「おいしい」着物と生花もすっかり気に入って「I love Japan beautiful」ニックの「おいしい」の連発に他の方々も大笑い。上手に英語を話す他のホストや通訳の方をうらやましいと思いつつ会話に四苦八苦する私にニックはいつも「I understand」と受け止めてくれました。

6歳になったばかりの1人息子、港はニックが大好きで

ついてまわり、「絶対入らない」と言っていた温泉も港に根負けしてtryしたニック。全然出て来ないので心配していたら出てくるなり「I love 温泉」食事の準備は必ず「May I help you?」と手伝ってくれるニック。皆で作った餃子を「おいしい very good」とたいらげ「MIHOKOの家に来て太った。船に乗ったら運動しなければ」と一言。

最終日、他のオーストラリアの青年達と合流したとき、会う友人毎に呼びとめ港を「My little brother」と紹介し、自分がどんな体験をしたか、どんなに楽しかったかを報告するニックを見て〈日本文化体験〉を企画して下さったTIRAのスタッフの方々他皆様に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

(服部美穂子)



## INTERNATIONAL RELATIONS

## 日本文化体験

去る10月26日(日)日本語教室受講生20余名の方が、豊明市文化会館檮庵にて茶道の体験をし、楽しみました。



## 国際交流パーティー

12月21日(土)豊明市文化会館ギャラリーにて、アメリカ、オーストラリア、北朝鮮、フィリピン他、9ヶ国73名の外国の方を迎えて“国際交流パーティー”が開催されました。茶道・華道・着付けなどの日本文化体験。いろいろな国の舞踊などがあり豊明市民を含めた200名が楽しい一時を過ごしました。



## ●国際交流のパーティーに参加させていただいて

2002年のパーティー、“皆様にお抹茶を味わっていただく”という事で、初めて国際交流に参加させていただきました。

美味しいとおっしゃって全部召し上がって下さる方、苦いと残される方。「僕たちお茶には砂糖を入れるから」といわれて、同じ中国に源流を持つお茶が、一方では砂糖を入れ、一方では入れないというのも面白いと気付かされました。

皆様のご協力喜んでいただけました事を心より感謝しています。  
(堀端英子)

## ●外国人対象の「着物の着付け」

外国人対象の「着物の着付け」を担当しました。手早く、美しく着せてあげなければなりません。着付けが得意なボランティアの皆様の大活躍で無事終了しました。鏡に写った自分の着物姿にニコリと微笑む若い女性の様子を見て、日本の伝統的な着物文化を後世に伝える事の大切さを再認識しました。

大切な着物を貸して下さった皆様、ご協力有り難うございました。又、不要となった男性用袴をお持ちの方ありましたら、是非、国際交流協会へ貸していただきたいと思います。日本のサムライ姿に憧れている外国人男性が意外に多い事に気付きました。  
(運営委員 K)

## COOKING

## 世界の料理教室

## ■日本料理■

講師 神野順子 先生



- ・栗ごはん
- ・れんこん蒸し
- ・長芋のおかかあえ
- ・ささみのすまし汁

10月26日(土)フィリピン・インド・台湾・中国の方々20名が参加し日本料理をつくりました。

今日は。わたしは、キニ ジュナで、「インド」から来ました。10年前に日本に来ていらぬ名古屋に住んでいます。こんかいはじめていろいろな国のともだちと、日本りょうりの教室にさんかしました。とっても楽しかったので、これからもさんかして行きたいと思います。

インドでは、さまざまな「スパイス」をいれたり、まぜたりしてりょうりしますが、こんかいはじめの教室では、まったく「スパイス」や、あぶらを使いませんでした。

いってきてもあぶらを使わずにたくさんりょうりができたので本当にびっくりしました。またできあがりりょうりもいろいろとりどりがかつヘルシーでした。

外国のおりょうりをならうのはおもしろいものです。これからも、せいととして、ほかのりょうり教室にもさんかしたり、また先生としてインドりょうりやカレを教える事をたのしみにしています。今回のようなきかいをいただきありがとうございます。  
ジュナ ケニ  
JUNA KEENI (インド)

海を渡って  
こんにち輪!

## A Turning Point

My Japan experience began almost 24 years ago when I was given an assignment to write a family tree during junior high school. ....

日本との出会いはおよそ24年前の中学時代に私の家系を調べる研究課題を与えられた時に始まりました。

系図さかのぼって調べ出して間もなく、母親の4代祖先は徳川将軍家の一人であった事を見つけました。その人は徳川政権転覆計画に失敗して、一族郎党を率いて船で日本を逃れました。彼らはハワイ島にたどり着き、偽名を使って新しい生活を営み始めました。

さらに驚いたことには、父系曾祖父の一人は日本、日本人、文化、風俗習慣に大きな興味関心を持っていました。彼は長い苦勞の末日本に来ることができ、亡くなる

まで日本中を駆け巡りました。富士山に近い寺に葬られ、今でもそこに眠っています。

私の研究課題は私の人生を決定づけました。すっかり日本の魅力にとりつかれ、研究の翌年、ホームステイ学生として1か月間名古屋にやって来てしまいました。高蔵寺と岡崎の2家庭にお世話になりました。滞在中に出会った日本のみなさんの親切さと気前のよさには仰天させられました。

この名古屋滞在の体験は生涯忘れられないものとなると同時に、私を名古屋に連れ戻すものとなりました。そして、もう16年も過ぎ、今後も家族と住み続けていくつもりです。

今までと同じように、どなたとも日々文化を分かちあっていることを楽しみにしています。

英語講師・リサ カミングス (訳: ボ・小野)

## REPORT

## シェパートン市調査報告

昨年夏 8月19日～26日、豊明市国際交流協会のメンバー3名が、豊明市と友好都市提携の推進を図る為に、オーストラリア・シェパートン市を訪問しました。

私のS市訪問で特に心に残ったことがふたつあります。そのひとつはS市の人々の友好的な人柄の良さです。そのふたつは食べ物の美味しさと一人前の量の多さです。人柄の良さには感動すら覚えました。

人々はみな温かく親切である。頼まれなくても労をいとわずその人の為に尽くしてくれること。大らかで開放的である。遠い異国から来た私たちにも胸襟を開いてくれること。公正で礼儀正しい。私達の周りには子供たちからも日常の挨拶があふれていたこと。また個人の人格を自分たちと分け隔てなく尊重する意識が強いと感じたこと。

食べ物の美味しさは格別でした。帰豪して体重が3kg増えていました。私は成人してから今までに体重の変化はありませんでしたから、この現象は沢山しかも栄養価の高いものを食べたことの結果なのです。食べ物はその国の文化の高さを表すといえます。肉、魚（日本のスズキのような自身のもの）、果物などの素材そのものの新鮮さと美味しさは格別ですが、それにくえて料理の工夫も素晴らしいものでした。パンもいろいろなものが加えられていてその美味しさは経験のないものでした。そしてその量の多さには胃袋の小さい私はいささか閉口しました。2人前で3人分がなお余る感じでした。今回の訪豪の窓口をしてくれましたDavid Joblingさん宅パーティーのご馳走の多さ、たまらない美味しさでした。食べ物の美味しさとその料理の多様さはこの国の文化の多様さとその質の高さを表しているでしょう。

ともあれ、S市との友好提携を市民全体ですすめて、豊明市の国際化に役立てて私達の生活を豊かにしていきたいと思っています。宜しくお願ひいたします。（運営委員長 中嶋静夫）

S市長訪問時、3人の先生が全く自主的に同席して下さいました。豊明市民の親切さ、児童生徒の交流のすばらしさ等を熱心に話し豊明市との友好都市提携は意義ある事業であると訴え、S市長の決意を促しました。助役の訪問時も2人の先生が同席されました。

うれしく思い感激しました。誰が先生方を動かしたのか。それは、オーストラリアからの訪日者を温かく受入れて下さったホストファミリーの皆さん、有意義な計画を立てて下さった先生方であったと確信しています。（運営委員 小野晃義）

\* \* \*

メルボルンから真つすぐに伸びたハイウェイを走ること北へ200キロ、遮る物のない180度のパノラマを堪能し、延々と続く地平線の中に牛、馬、羊が草を食んでいる風景に静かな感動も覚えました。

出迎えて下さった方々の胸に日本とオーストラリアの国旗のバッジが眼に飛び込んできました。私達一行の訪問目的を充分理解し、一層の交流拡大を図ろうとする気持ちが伝わってきたのです。

友好関係にあるW校とB校を訪問しました。先生や生徒児童がとてもフレンドリーで、授業中であっても手を振り、日本語で「おはようございます。こんにちは」と挨拶してくれました。日本ではとても考えられない場面でした。また、先住民族アボリジニーの文化がとても大切にされており、至るところに遺産や作品が展示され、伝統と文化を尊び、継承していこうとする国民性を感じました。

シェパートンの方々はとても親しみやすく、人と人の心にはバリアフリーの雰囲気を感じました。

異なった教育、文化、産業を身近に触れ、日本のそれらと対比しながら、豊明市民として豊明市の良さをより広く深く認識したいと思いました。（事務局 伊藤和恵）

\* S市=シェパートン市

\* W校=ワンガヌイパークセカンダリーカレッジ

\* B校=ポーシアストリート小学校

## VOLUNTEER

## 救援衣料活動

2002年のアフリカ向け救援衣料活動は、11月17日(日)午後より商工会館1階にて行われました。当日は星城高校生徒会を初めとする多くのボランティアが作業に参加しました。尚、衣料提供：ダンボール83箱（1.5トン）。輸送費募金：169,973円と、皆様から多くのご協力をいただき有り難うございました。

## ●救援衣料ボランティア活動に参加して

私はこのボランティア活動の話聞いた時、実はアフリカのサハラ砂漠周辺へ、もう自分達が着なくなった衣類などを運ぶ手伝いをするのだと、勝手に考え、すごく力のいる重労働をするのかな…と思いました。が、実際は、善意で集まった（当日、次から次へたくさんの衣類や靴や帽子が運び込まれました）衣類などをキレイにたたんで箱に詰める作業が主で、予想していたよりは力もいらず、比較的軽い作業のように見えました。しかし、いざやってみると、これがとても大変な作業だと分かりました。たたむたびに綿ほこりで目は痛くなるし、鼻はやたらむず痒くなるしで、とにかく想像以上でした。全員マスクをはめての作業でした。また、箱詰めの作業も初めはなかなか上手にいかず、手間取りました。自分だけでなく、初参加の星城生はみんな悪戦苦闘していました。でも、そういう作業をしながら、今の自分たちの境遇を考えたとき、自分たちはアフリカの難民に比べ、とても恵まれた生活をしていることを改めて知りました。そして、こうして自分たちの流す汗が少しでも役に立つなら、こんな素晴らしいことはないと思ひ、知らず知らず真剣に作業に取り組んでいました。その結果、最後の頃は、たたむのも箱に詰めるのも早くきれいにできるようにになりました。

作業が一段落し、休憩のとき、ちょっとした飲み物とスナック菓子をいただきました。それがまた特別おいしく感じられた

のですが、それはきっと自分が今やっていることが何人もの人々を助けることになるんだという精神的な満足感に似たものを感じたからだったのでしょうか。とにかくとても嬉しかったのです。

全ての作業を終えたとき、ふと掲示板に貼られた多くの写真に目が行きましたが、それらの写真を見て、とても悲しくつらい気持ちになりました。それは子供達が着ている服や履いている靴がみんなボロボロだったからです。

今の私たちは少し古くなっただけで、いとも簡単になんでも捨ててすぐに新しい物を買います。現代の日本人は、難民のことを知らなさすぎると思います。今日一日だけでもかなりの量の衣類やその他の物資が集まりましたが、私はやり方次第でもっとたくさん集められると思います。そのためには私たちの学校も生徒会が立上がり、声掛けして協力するようにしたいと思います。

今日の活動を通して、自分はいろいろなことを学びました。衣類を整理したり、たたんだり、大きなダンボール箱を組み立てたり、それにぎっしり詰め込んだり、それらを運んだり、いろいろな作業をしましたが、終わった後は、今まで味わったことのない充実感・満足感でいっぱいでした。来年は星城高校全体で参加したいと思っています。

今後とも今回のような活動がありましたら、手伝わして下さい。いい体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

星城高等学校 生徒会副会長 川村嘉雅（2年）



## 2003年度 国際交流協会 総会のお知らせ

★日 時 2003年5月10日(土) 午後2時～

★場 所 豊明市文化会館小ホール

※総会終了後、ミニコンサートを予定しています。

お楽しみに…!



## RECRUIT

### TIRA 会員・ボランティア募集

#### 年会費

個人会員 (1口) : 2,000円  
1,000円  
(18歳以下)  
法人会員 (1口) : 10,000円  
団体会員 (1口) : 5,000円

#### ボランティア

- ①ホームステイ、ホームビジット
- ②語学 (通訳、翻訳)
- ③事業 (行事)
- ④日本語教室 (講師)
- ⑤広報 (TIRA 発行年3回)
- ⑥国際協力 (救援衣料・災害募金)
- ⑦日本文化紹介 (お茶・お花他)

#### タイ日親善クラブ使節団受入事業

- ・タイの方をホストしてみませんか?
- 4月27日(日)～29日(祝)(火)

#### 日本語教室ボランティア

- ・金曜日：教室午後7時～8時45分
- ・日曜日：教室午後2時～3時45分
- ・場 所：豊明市総合福祉会館

現在、下記の方々に法人、団体会員としてご参加ご協力いただいております。(順不同)

#### 【法人会員】

愛知朝鮮中高級学校  
あいち尾東農業協同組合豊明支店  
(株)アイティーオー  
(資)加藤商店  
学校法人 桜花学園  
学校法人 藤田学園  
興和精密工業(株)  
中部ケーブルネットワーク(株)

宗教法人 豊明神社  
星城高等学校  
(株)ジーピーセンター  
大栄技研工業(株)  
(社)豊明青年会議所  
豊明市商工会  
(有)久乃屋  
(株)リョーイン

#### 【団体会員】

豊明ライオンズクラブ  
豊明金融懇話会  
豊明市子ども会連絡協議会  
豊明市小中学校校長会  
豊明市体育協会  
豊明市文化協会  
豊明市幼児教育研究協議会  
豊明市連合婦人会  
無雙直傳英信流正統会豊明支部闘誠館  
民踊 ゆたか会

#### 編集 後記

オーストラリアのシェパートン市と友好提携を結ぶためには、市民の皆様のご協力が欠かせません。TIRAの活動もいろいろと改善が必要です。どうぞご意見をお寄せください。  
(運営委員長 中嶋)

#### 問い合わせ先

豊明市国際交流協会事務局  
〒470-1195 豊明市新田町子持松1-1  
(豊明市役所企画課内)  
TEL 0562-92-8318 FAX 0562-92-1141